

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	17103001	研究期間	平成17年度～平成21年度
研究課題名	<法のクレオール>と主体的法形成の研究	研究代表者 (所属・職)	長谷川 晃（北海道大学・大学院 法学研究科・教授）

【平成20年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、国民国家像が融解しつつある現在、本研究が貢献すべき点には大きいものがある。 ・次に、印刷媒体のみならず、ホームページ等を通じて途中経過が着実に発信されている点は評価できる。 ・研究分担者の研究も、ほぼ予定どおり公表されている。 ・以上から、研究は全体として着実に進捗している、と判断できる。 		

【平成22年度 検証結果】

研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。
